

5月に開催しました定期総会におきまして2019年・2020年度の役員改選が行われ、その後の理事会で会長に再選されました湯田範規（ゆだのりき）です。新役員を代表してご挨拶申し上げます。

鳥取県臨床検査技師会は昭和32年に日本衛生検査協会鳥取県支部として発足し、県内の病院、診療所、検査センター、検診センターなど様々な施設で検体検査・生理検査の業務に携わる約330名の会員が所属する臨床検査技師の学術職能団体です。

臨床検査技師の業務は、血液、尿、便、喀痰などの検査を行う検体検査と心電図、呼吸機能(肺活量など)、超音波、脳波、聴力検査などの生理機能検査があります。また、医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、管理栄養士、臨床工学士など他の医療スタッフと協力して、感染対策、栄養管理、糖尿病療養指導などのチーム医療に携わっています。

少子高齢化により医療においても効率的で高度な医療体制が求められています。臨床検査技師も医療を担う一員として検査説明および結果の説明、病棟業務への参画、認知症検査の推進、地域包括ケアへの参画等を進めてまいります。

当会では、会員の知識や技術の研鑽により、臨床検査に関する知識の普及及び啓発を通して地域における公衆衛生の向上及び健康の保持、増進に取り組んでまいります。これからも皆様の温かいご支援・ご協力をお願い致します。

一般社団法人鳥取県臨床検査技師会
会長 湯田範規